

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
設定日	2016年9月26日
信託期間	無期限
運用方針	円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。なお、親投資信託であるマネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。Aコースでは原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。Bコースでは原則として対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動による影響を受けません。
主要運用対象	大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用） ・コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス受益証券を主要投資対象とします。なお、マネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。 大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用） ・コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス受益証券を主要投資対象とします。 なお、マネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。 コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス／アンヘッジド・クラス ・米国の株式等を主要投資対象とします。 マネー・マネジメント・マザーファンド ・本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	・投資信託証券、短期社債等およびコマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎年6月15日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。

運用報告書（全体版）

第3期

決算日 2019年6月17日

大和住銀／コロンビア米国株 リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）／ Bコース（ダイワ投資一任専用）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）」は、去る2019年6月17日に第3期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

 三井住友DSアセットマネジメント

（旧：大和住銀投信投資顧問）
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

＜Aコース（ダイワ投資一任専用）＞

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P500種株価指数 (配当込み)		公社債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配)	税込 分配金	騰落 中率	(参考指数)	騰落 中率			
(設定日) 2016年9月26日	円 10,000	円 —	% —	ポイント 4,112.69	% —	% —	% —	百万円 1
第1期(2017年6月15日)	11,352	0	13.5	4,703.53	14.4	0.0	96.2	203
第2期(2018年6月15日)	12,266	0	8.1	5,474.37	16.4	0.0	98.2	512
第3期(2019年6月17日)	12,427	0	1.3	5,795.96	5.9	0.0	97.9	532

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		S & P500種株価指数 (配当込み)		公社債組入比率	投資信託証券組入比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2018年6月15日	円 12,266	% —	ポイント 5,474.37	% —	% 0.0	% 98.2
6月末	11,988	△ 2.3	5,346.44	△ 2.3	0.0	98.1
7月末	12,403	1.1	5,522.81	0.9	0.0	97.2
8月末	12,705	3.6	5,729.45	4.7	0.0	98.2
9月末	12,780	4.2	5,763.22	5.3	0.0	98.3
10月末	11,766	△ 4.1	5,311.67	△ 3.0	0.0	98.2
11月末	11,982	△ 2.3	5,433.49	△ 0.7	0.0	98.3
12月末	10,867	△ 11.4	4,946.94	△ 9.6	0.0	97.8
2019年1月末	11,676	△ 4.8	5,336.60	△ 2.5	0.0	97.9
2月末	12,088	△ 1.5	5,570.57	1.8	0.0	98.0
3月末	12,212	△ 0.4	5,626.32	2.8	0.0	98.1
4月末	12,652	3.1	5,853.87	6.9	0.0	98.1
5月末	12,108	△ 1.3	5,591.97	2.1	0.0	98.1
(期末) 2019年6月17日	12,427	1.3	5,795.96	5.9	0.0	97.9

*騰落率は期首比です。

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

<Bコース（ダイワ投資一任専用）>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配) 円	税金 円	騰落 率	(参考指数)	騰落 率			
(設定日) 2016年9月26日	10,000	—	—	10,000	—	—	—	百万円 1
第1期(2017年6月15日)	12,472	0	24.7	12,455	24.5	0.0	98.1	123
第2期(2018年6月15日)	13,805	0	10.7	14,623	17.4	0.0	98.0	345
第3期(2019年6月17日)	14,091	0	2.1	15,199	3.9	0.0	98.0	416

S & P 500種株価指数（配当込み、円換算）とは、S & P 500種株価指数（配当込み、米ドルベース）を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		S & P 500種株価指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2018年6月15日	13,805	—	14,623	—	0.0	98.0
6月末	13,524	△2.0	14,263	△2.5	0.0	98.1
7月末	14,088	2.0	14,796	1.2	0.0	96.9
8月末	14,512	5.1	15,357	5.0	0.0	97.4
9月末	14,869	7.7	15,796	8.0	0.0	97.8
10月末	13,657	△1.1	14,519	△0.7	0.0	98.2
11月末	14,000	1.4	14,880	1.8	0.0	98.3
12月末	12,441	△9.9	13,252	△9.4	0.0	97.4
2019年1月末	13,257	△4.0	14,033	△4.0	0.0	98.0
2月末	13,907	0.7	14,905	1.9	0.0	98.1
3月末	14,039	1.7	15,071	3.1	0.0	97.8
4月末	14,697	6.5	15,802	8.1	0.0	97.8
5月末	13,891	0.6	14,759	0.9	0.0	98.2
(期末) 2019年6月17日	14,091	2.1	15,199	3.9	0.0	98.0

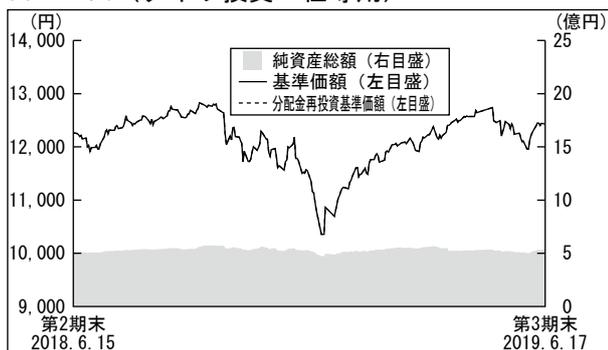
*騰落率は期首比です。

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

運用経過

【基準価額等の推移】

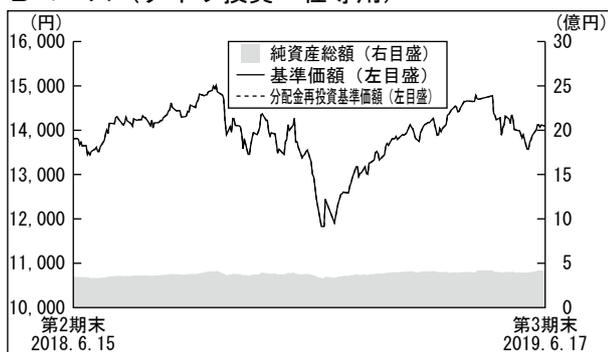
Aコース（ダイワ投資一任専用）



第3期首：12,266円
 第3期末：12,427円（既払分配金 0円）
 騰落率：+1.3%（分配金再投資ベース）

*当ファンドにはベンチマークはありません。
 *分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。
 *分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 *分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

Bコース（ダイワ投資一任専用）



第3期首：13,805円
 第3期末：14,091円（既払分配金 0円）
 騰落率：+2.1%（分配金再投資ベース）

*当ファンドにはベンチマークはありません。
 *分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。
 *分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 *分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

【基準価額の主な変動要因】

Aコース（ダイワ投資一任専用）

当ファンドは、コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラスへの投資を通じて、米国株式へ投資しました。

（上昇要因）

セクター別では、情報技術、ヘルスケア、一般消費財・サービスがプラスに寄与したことが要因となりました。個別銘柄では、クラウドなどで素晴らしい戦略的立ち位置にあるMicrosoft Corp.、決算が好調だったMastercard Inc.、同様に好業績を発表したAmerican Tower Corp.がプラスに寄与したことが要因となりました。

（下落要因）

セクター別では、エネルギー、資本財・サービスがマイナスに作用したことが要因となりました。個別銘柄では、FedEx Corp.、Allergan plc、PVH Corp.がマイナスに作用したことが要因となりました。

Bコース（ダイワ投資一任専用）

当ファンドは、コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラスへの投資を通じて、米国株式へ投資しました。

（上昇要因）

セクター別では、情報技術、ヘルスケア、一般消費財・サービスがプラスに寄与したことが要因となりました。個別銘柄では、クラウドなどで素晴らしい戦略的立ち位置にあるMicrosoft Corp.、決算が好調だったMastercard Inc.、同様に好業績を発表したAmerican Tower Corp.がプラスに寄与したことが要因となりました。

（下落要因）

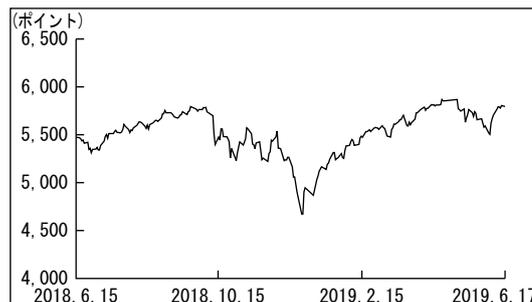
セクター別では、エネルギー、資本財・サービスがマイナスに作用したことが要因となりました。個別銘柄では、FedEx Corp.、Allergan plc、PVH Corp.がマイナスに作用したことが要因となりました。

為替市場では、円高・米ドル安となったことがマイナスとなりました。

【投資環境】

期前半においては、2009年来の長期上昇相場が持続しました。その後、2018年10-12月期には極端なボラティリティ（価格変動性）の上昇が起こり、12月には大幅な下落となりました。2018年10-12月期のS&P500指数のリターンは大幅なマイナスとなりましたが、10年近く上昇相場が継続していることをふまえると、この程度の調整は標準かつ健全であると見ています。2019年1-3月期に、米国株は急騰し、S&P500指数は2009年以来最も高い四半期リターンとなりました。しかし5月に入ると、再びボラティリティが上昇し、S&P500指数をはじめ米主要株価指数は下落しました。

S & P 500種株価指数（配当込み）の推移



規模別では、大型株は、中型株および小型株を大幅にアウトパフォームしました。スタイル別では、グロースがバリューをアウトパフォームしました。

国内短期金融市場では、期初-0.12%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、2018年9月末以降、海外投資家の短期の国債への需要の高まりを受けて-0.30%近辺まで低下しました。その後-0.10%~-0.30%で推移し、-0.14%近辺で期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

■ Aコース（ダイワ投資一任専用）

主要投資対象であるコロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラスを期を通じて高位に組み入れ、期末の投資信託証券組入比率は97.9%としました。

■ コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス

Northrop Grumman Corp.、eBay Inc.、Air Products and Chemicals, Inc.、Adobe Inc.、Dentsply Sirona, Inc.を購入しました。一方、FedEx Corp.、Biogen Inc.、Bank of New York Mellon Corporation、Halliburton Company、Nucor Corp.を売却しました。

また、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

■ Bコース（ダイワ投資一任専用）

主要投資対象であるコロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラスを期を通じて高位に組み入れ、期末の投資信託証券組入比率は98.0%としました。

■ コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス

Northrop Grumman Corp.、eBay Inc.、Air Products and Chemicals, Inc.、Adobe Inc.、Dentsply Sirona, Inc.を購入しました。一方、FedEx Corp.、Biogen Inc.、Bank of New York Mellon Corporation、Halliburton Company、Nucor Corp.を売却しました。

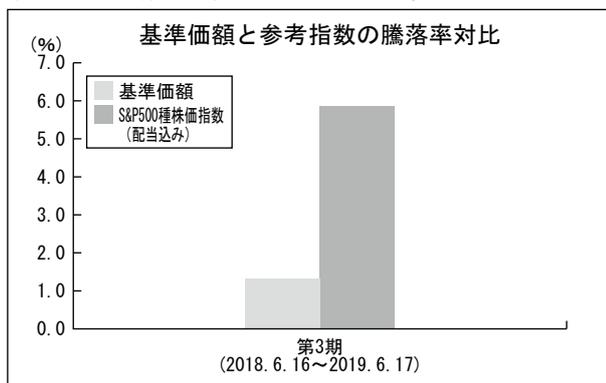
■ マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

【ベンチマークとの差異】

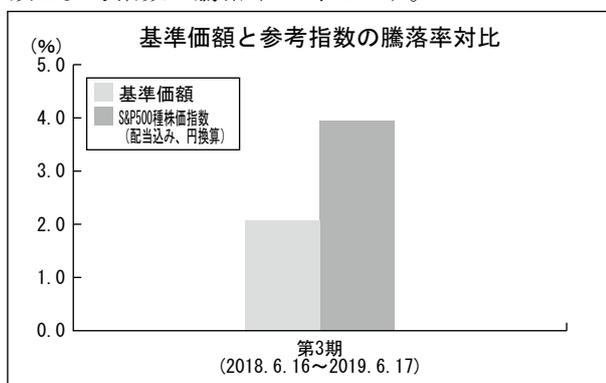
■ Aコース（ダイワ投資一任専用）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



■ Bコース（ダイワ投資一任専用）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



【分配金】

Aコース（ダイワ投資一任専用）

分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■ 分配原資の内訳

(1万円当たり・税引前)

項目	第3期	
	2018年6月16日 ～2019年6月17日	
当期分配金 (円)		0
(対基準価額比率) (%)		0.00
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		2,426

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

Bコース（ダイワ投資一任専用）

分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■ 分配原資の内訳

(1万円当たり・税引前)

項目	第3期	
	2018年6月16日 ～2019年6月17日	
当期分配金 (円)		0
(対基準価額比率) (%)		0.00
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		4,091

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■ Aコース（ダイワ投資一任専用）

引き続き、運用の基本方針に従い、円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

■ コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス

当ファンドでは、米国経済と米国株に慎重ながらも引き続き楽観的な見方をしていますが、貿易摩擦や世界的な景気鈍化の兆候は、大きな懸念となると見ています。ただし、当ファンドでは、米国経済、米国株の力強いファンダメンタルズ（基礎的条件）は健在と見ており、米国株は好調な企業業績を背景に上昇を継続すると考えています。保有銘柄のファンダメンタルズは依然として健全です。当ファンドの投資プロセスはボトムアップであり、セクター配分は個別銘柄選択を積み上げた結果であると考えています。

また、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

■ Bコース（ダイワ投資一任専用）

引き続き、運用の基本方針に従い、円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

■ コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス

当ファンドでは、米国経済と米国株に慎重ながらも引き続き楽観的な見方をしていますが、貿易摩擦や世界的な景気鈍化の兆候は、大きな懸念となると見ています。ただし、当ファンドでは、米国経済、米国株の力強いファンダメンタルズ（基礎的条件）は健在と見ており、米国株は好調な企業業績を背景に上昇を継続すると考えています。保有銘柄のファンダメンタルズは依然として健全です。当ファンドの投資プロセスはボトムアップであり、セクター配分は個別銘柄選択を積み上げた結果であると考えています。

■ マネー・マネジメント・マザーファンド

日本銀行は2018年7月の金融政策決定会合において、現行の金融緩和政策を粘り強く続けていくため、政策金利のフォワードガイダンスを導入しました。したがって当分の間、市場利回りは低い水準での推移が見込まれます。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

＜Aコース（ダイワ投資一任専用）＞

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年6月16日～2019年6月17日		
	金額	比率	
信託報酬	62円	0.516%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,102円です。
(投信会社)	(46)	(0.380)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(13)	(0.109)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.010)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	64	0.526	

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

(2018年6月16日から2019年6月17日まで)

■投資信託受益証券

		買		付		売		付	
		口	数	金	額	口	数	金	額
外国	Columbia US Contrarian Fund Hedged Class	109,419	千口	135,298	千円	102,804	千口	125,817	千円

*金額は受渡し代金

利害関係人との取引状況等

(2018年6月16日から2019年6月17日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2019年6月17日現在

■ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期			期末		
	口	数	評 価 額	口	数	比 率
Columbia US Contrarian Fund Hedged Class	410,046	千口	521,004	千円	97.9	%
合 計	410,046	千口	521,004	千円	97.9	%

*比率は、純資産総額に対する評価額の割合

■親投資信託残高

	期首（前期末）		当 期		末	
	口	数	口	数	評 価 額	額
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	千口	9	千口	9	千円

＜補足情報＞

マネー・マネジメント・マザーファンドにおける組入資産の明細

下記は、マネー・マネジメント・マザーファンド全体（37,329千口）の内容です。

■ 公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	2019年6月17日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
	千円	千円	%	%	5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
特 殊 債 券 (除く金融債券)	24,000 (24,000)	24,093 (24,093)	64.6 (64.6)	— (—)	— (—)	— (—)	64.6 (64.6)
合 計	24,000 (24,000)	24,093 (24,093)	64.6 (64.6)	— (—)	— (—)	— (—)	64.6 (64.6)

* () 内は、非上場債で内書き

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘 柄	2019年6月17日現在				償 還 年 月 日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額		
	%	千円	千円		
(特殊債券（除く金融債券）)					
7 政保原賠・廃炉	0.0010	10,000	10,000		2019/06/21
85 政保道路機構	1.4000	4,000	4,007		2019/07/31
93 政保道路機構	1.4000	5,000	5,033		2019/11/29
100 政保道路機構	1.4000	5,000	5,052		2020/02/28
合 計	—	24,000	24,093		—

投資信託財産の構成

2019年6月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	521,004	97.5
マ ネ ー ・ マ ネ ジ メ ン ト ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	9	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	13,564	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	534,578	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月17日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	534,578,898円
コール・ローン等	13,563,643
投資信託受益証券(評価額)	521,004,911
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	9,981
未 収 入 金	363
(B) 負 債	2,511,665
未 払 解 約 金	1,094,137
未 払 信 託 報 酬	1,362,791
そ の 他 未 払 費 用	54,737
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	532,067,233
元 本	428,168,239
次 期 繰 越 損 益 金	103,898,994
(D) 受 益 権 総 口 数	428,168,239口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	12,427円

*元本状況

期首元本額	417,987,219円
期中追加設定元本額	120,327,753円
期中一部解約元本額	110,146,733円

損益の状況

自2018年6月16日
至2019年6月17日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 8,854円
受 取 利 息	1,545
そ の 他 収 益 金	366
支 払 利 息	△ 10,765
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	10,913,439
売 買 益	14,664,271
売 買 損	△ 3,750,832
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,802,349
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	8,102,236
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	28,894,564
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	66,902,194
(配 当 等 相 当 額)	(28,553,207)
(売 買 損 益 相 当 額)	(38,348,987)
(G) 計 (D+E+F)	103,898,994
次 期 繰 越 損 益 金(G)	103,898,994
追 加 信 託 差 損 益 金	66,902,194
(配 当 等 相 当 額)	(28,553,207)
(売 買 損 益 相 当 額)	(38,348,987)
分 配 準 備 積 立 金	37,005,610
繰 越 損 益 金	△ 8,810

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配 当 等 収 益(費用控除後)	0円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	8,105,049
(C) 収 益 調 整 金	66,902,194
(D) 分 配 準 備 積 立 金	28,900,561
分 配 可 能 額(A+B+C+D)	103,907,804
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	(2,426.8)
収 益 分 配 金	0
(1 万 口 当 り 収 益 分 配 金)	(0)

お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。(2019年4月1日付)

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

<Bコース（ダイワ投資一任専用）>

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年6月16日～2019年6月17日		
	金額	比率	
信託報酬	72円	0.516%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,907円です。
(投信会社)	(53)	(0.380)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(15)	(0.109)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.027)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.010)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	73	0.526	

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

(2018年6月16日から2019年6月17日まで)

■投資信託受益証券

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	Columbia US Contrarian Fund Unhedged Class	千口 103,597	千円 149,583	千口 61,619	千円 89,086

*金額は受渡し代金

利害関係人との取引状況等

(2018年6月16日から2019年6月17日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2019年6月17日現在

■ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
Columbia US Contrarian Fund Unhedged Class	千口 281,937	千円 408,470	% 98.0
合計	281,937	408,470	98.0

*比率は、純資産総額に対する評価額の割合

■親投資信託残高

	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
マネー・マネジメント・マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

<補足情報>

マネー・マネジメント・マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、8ページをご参照ください。

投資信託財産の構成

2019年6月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	408,470	97.8
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	9,278	2.2
投資信託財産総額	417,759	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月17日)現在

項目	当期末
(A) 資産	417,759,449円
コール・ローン等	9,278,517
投資信託受益証券(評価額)	408,470,951
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	9,981
(B) 負債	1,047,509
未払信託報酬	1,008,484
その他未払費用	39,025
(C) 純資産総額(A-B)	416,711,940
元本	295,722,873
次期繰越損益金	120,989,067
(D) 受益権総口数	295,722,873口
1万口当り基準価額(C/D)	14,091円

*元本状況

期首元本額	250,171,533円
期中追加設定元本額	123,221,237円
期中一部解約元本額	77,669,897円

損益の状況

自2018年6月16日
至2019年6月17日

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 7,715円
受取利息	1,083
支払利息	△ 8,798
(B) 有価証券売買損益	6,951,117
売買益	11,512,298
売買損	△ 4,561,181
(C) 信託報酬等	△ 2,000,696
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,942,706
(E) 前期繰越損益金	14,840,040
(F) 追加信託差損益金	101,206,321
(配当等相当額)	(15,796,662)
(売買損益相当額)	(85,409,659)
(G) 計(D+E+F)	120,989,067
次期繰越損益金(G)	120,989,067
追加信託差損益金	101,206,321
(配当等相当額)	(15,796,662)
(売買損益相当額)	(85,409,659)
分配準備積立金	19,790,415
繰越損益金	△ 7,669

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含まず。

*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配当等収益(費用控除後)	0円
(B) 有価証券売買等損益(費用控除後、繰越欠損金補填後)	4,946,727
(C) 収益調整金	101,206,321
(D) 分配準備積立金	14,843,688
分配可能額(A+B+C+D)	120,996,736
(1万口当り分配可能額)	(4,091.56)
収益分配金	0
(1万口当り収益分配金)	(0)

お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。(2019年4月1日付)

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

参考情報

■投資対象とする投資信託証券の概要

ファンド名	コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス／アンヘッジド・クラス Columbia US Contrarian Fund Hedged Class/Unhedged Class
基本的性格	ケイマン籍／外国投資信託受益証券／円建て
運用目的	主に米国の金融商品取引所に上場する株式等に投資することで、中長期的な信託財産の成長を目指します（不動産投資信託証券やETF等に投資する場合があります。）。
主要投資対象	米国の株式等を主要投資対象とします。
投資方針	<ol style="list-style-type: none"> 主として米国の株式等に投資することで、中長期的な信託財産の成長を目指します。 <ul style="list-style-type: none"> 株式等の投資にあたっては、厳格なファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り戦略により、安定した超過収益の獲得を目指します。 株式等の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。 ヘッジド・クラスでは、原則として組入資産に対して対円で為替ヘッジを行います。アンヘッジド・クラスでは、原則として為替ヘッジは行いません。 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式等への投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の株式等への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以内とします。 デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
申込手数料	ありません。
管理報酬 その他費用	管理報酬等：年0.47% 上記の他、信託財産にかかる租税、組入有価証券の売買時にかかる費用、受託会社の費用、管理事務費用、名義書換事務代行費用、組入有価証券等の保管に関する費用、設立費用、弁護士費用、財務諸表の監査にかかる費用や信託財産の事務に関する費用等はファンドの信託財産から負担されます。 上記の報酬等は将来変更される場合があります。
主な関係法人	管理会社：ランタン・ストラクチャード・アセット・マネジメント・リミテッド 投資顧問会社：コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー

※上記の内容は、今後変更になる場合があります。

■投資対象とする投資信託証券の資産の状況

当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のColumbia US Contrarian Fundの情報を委託会社が抜粋・翻訳したものを記載しております。

財政状態計算書

	2018年9月30日現在 (単位：日本円)	2017年9月30日現在 (単位：日本円)
資産		
流動資産		
公正価値で測定する金融資産	8,333,942,010	12,926,123,222
現金及び現金同等物	485,141,766	825,717,598
委託証拠金	46,569,741	36,019,811
未収入金(受益者)	8,592,617	6,024,747
未収入金(証券会社)	87,381,564	33,047,274
未収配当金	6,341,813	8,877,104
資産 計	8,967,969,511	13,835,809,756
負債		
流動負債		
公正価値で測定する金融負債	26,554,044	47,745,950
未払金(受益者)	40,399,209	49,861,161
未払金(証券会社)	31,695,647	68,983,755
未払費用	13,173,212	10,514,927
負債 計	111,822,112	177,105,793
受益者に帰属する純資産(設立費用調整前)	8,856,147,399	13,658,703,963
元本		
受益者に帰属する純資産(設立費用調整後)	8,858,861,235	13,663,057,744
設立費用調整額	2,713,836	4,353,781

包括利益計算書 2018年9月30日に終了した年度

	2018年9月30日に 終了した決算期 (単位：日本円)	2017年9月30日に 終了した決算期 (単位：日本円)
収益		
受取配当金	185,099,249	320,464,786
受取利息	2,425,793	63,395
外国為替の利益	193,544	38,497,468
金融資産負債に係る公正価値の変動	548,634,830	3,578,598,763
収益 計	736,353,416	3,937,624,412
費用		
受託会社報酬及び管理会社費用	2,228,901	2,178,773
副管理会社費用	13,094,990	12,909,255
カスタディーフィー	6,037,508	6,738,739
投資運用報酬	44,091,903	70,291,532
運用報酬	9,698,082	15,746,877
取引費用	6,058,272	9,972,804
設立費用	—	1,977,175
スワップ関連費用	14,397,397	24,272,189
コラテラル・エージェント・フィー	563,235	296,586
その他費用	2,916,082	2,154,907
費用 計	99,086,370	146,538,837
営業収益	637,267,046	3,791,085,575
金融費用		
受益者への分配金	(5,506,540,515)	(5,847,830,275)
税引き前損失	(4,869,273,469)	(2,056,744,700)
源泉税	(49,082,821)	(83,559,991)
受益者に帰属する純資産の減少(設立費用調整前)	(4,918,356,290)	(2,140,304,691)
設立費用調整額	(1,639,945)	337,230
受益者に帰属する純資産の減少(設立費用調整後)	(4,919,996,235)	(2,139,967,461)

【組入上位銘柄】

銘柄名	業種名	比率
1 Apple Inc.	情報技術	5.4%
2 Microsoft Corporation	情報技術	4.7%
3 Amazon.com, Inc.	一般消費財・サービス	3.6%
4 JPMorgan Chase & Co.	金融	3.1%
5 Medtronic plc	ヘルスケア	3.0%
6 Berkshire Hathaway Inc. Class B	金融	2.8%
7 Facebook, Inc. Class A	情報技術	2.7%
8 Johnson & Johnson	ヘルスケア	2.7%
9 Pfizer Inc.	ヘルスケア	2.7%
10 Mastercard Incorporated Class A	情報技術	2.6%

(組入銘柄数 74銘柄)

※ 組入上位銘柄はコロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーから提供された2018年9月末基準のデータに基づき作成しております。

※ Columbia US Contrarian Fundの組入株式等の時価評価額合計に対する比率です。

※ 業種名は世界産業分類基準(GICS)です。

マネー・マネジメント・マザーファンド

運用報告書

決算日：2018年7月25日

(第5期：2017年7月26日～2018年7月25日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none">・株式への投資は行いません。・外貨建資産への投資は行いません。・デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

<http://www.daiwasbi.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
(設 定 日) 2013年 6 月 3 日	円 10,000		% —	% —	百万円 102
第 1 期 (2014年 7 月 25日)	10,008		0.1	76.1	26
第 2 期 (2015年 7 月 27日)	10,010		0.0	74.4	53
第 3 期 (2016年 7 月 25日)	10,011		0.0	69.6	59
第 4 期 (2017年 7 月 25日)	10,000		△0.1	79.3	49
第 5 期 (2018年 7 月 25日)	9,995		△0.1	83.5	49

*当ファンドは、安定した収益の確保を目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 率 組 入 比
		騰 落	率	
(期 首) 2017年 7 月 25日	円 10,000		% —	% 79.3
7 月 末	10,000		0.0	59.0
8 月 末	9,999		△0.0	79.5
9 月 末	9,999		△0.0	59.1
10 月 末	10,000		0.0	58.5
11 月 末	9,999		△0.0	66.4
12 月 末	9,999		△0.0	66.1
2018年 1 月 末	9,998		△0.0	54.2
2 月 末	9,996		△0.0	78.9
3 月 末	9,996		△0.0	71.2
4 月 末	9,996		△0.0	71.3
5 月 末	9,996		△0.0	71.3
6 月 末	9,996		△0.0	71.4
(期 末) 2018年 7 月 25日	9,995		△0.1	83.5

*騰落率は期首比です。

運用経過

【基準価額等の推移】

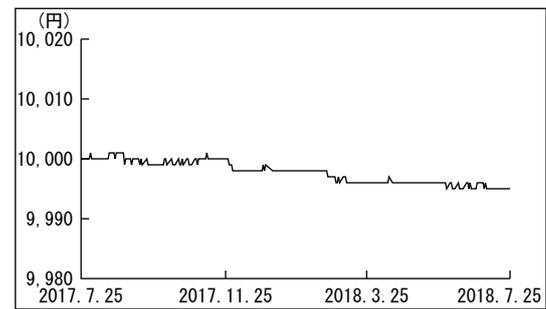
期首：10,000円
 期末：9,995円
 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

(下落要因)

マイナス金利政策導入を背景とした無担保コールレートのマイナス化が下落要因となりました。

基準価額の推移



【投資環境】

国内短期金融市場では、期初-0.13%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、米国の債務上限問題や海外投資家による短期の国債への需要の高まり等を背景に2017年11月下旬にかけて-0.25%近辺まで低下しました。その後はマイナス幅を縮小し期末にかけて狭いレンジの動きに終始し、-0.15%近辺で期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

今後の運用方針

日本銀行の「長短金利操作付き量的・質的緩和」への政策枠組み変更後も、残存1年未満の国債・政府保証債の市場利回りはマイナス圏で推移しています。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2017年7月26日～2018年7月25日		
	金額	比率	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.002% (0.002)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	0	0.002	
期中の平均基準価額は9,998円です。			

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

(2017年7月26日から2018年7月25日まで)

■公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	地方債証券	4,001	(4,000)
	特殊債券	51,488	(49,000)

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

主要な売買銘柄

(2017年7月26日から2018年7月25日まで)

■公社債

		当期	
買付	金額	売付	金額
銘柄	千円	銘柄	千円
66 政保道路機構	14,134	—	—
67 政保道路機構	11,126		
886 政保公営企業	10,151		
62 政保道路機構	10,018		
77 政保道路機構	6,056		
92 大阪府5年	4,001		

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2017年7月26日から2018年7月25日まで)

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

組入資産の明細

2018年7月25日現在

■ 公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
特 殊 債 券 (除く金融債券)	千円 41,000 (41,000)	千円 41,141 (41,141)	% 83.5 (83.5)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% — (—)
合 計	41,000 (41,000)	41,141 (41,141)	83.5 (83.5)	— (—)	— (—)	— (—)	83.5 (83.5)

* () 内は、非上場債で内書き

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(特殊債券 (除く金融債券))	%	千円	千円	
62 政保道路機構	1.7000	10,000	10,003	2018/07/31
66 政保道路機構	1.5000	14,000	14,037	2018/09/28
67 政保道路機構	1.6000	11,000	11,048	2018/10/31
77 政保道路機構	1.3000	6,000	6,051	2019/03/19
合 計	—	41,000	41,141	—

投資信託財産の構成

2018年7月25日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
公 社 債	千円 41,141	% 83.5	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	8,105	16.5	
投 資 信 託 財 産 総 額	49,246	100.0	

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年7月25日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	49,246,681円
コーポレートローン等	8,012,546
公社債(評価額)	41,141,180
未収利息	21,695
前払費用	71,260
(B) 負 債	5,010
未払解約金	5,000
その他未払費用	10
(C) 純資産総額(A-B)	49,241,671
元 本	49,264,828
次期繰越損益金	△ 23,157
(D) 受益権総口数	49,264,828口
1万口当り基準価額(C/D)	9,995円

*元本状況

期首元本額	49,397,657円
期中追加設定元本額	1,267,196円
期中一部解約元本額	1,400,025円

*元本の内訳

北米シェール関連株ファンド	7,581,704円
タブ・アメリカ(マナープールファンド)	7,852,018円
米国小型株ツインα(毎月分配型)	552,681円
米国小型株ツインα(資産成長型)	71,698円
日本株アルファ・カルテット(毎月分配型)	1,998,801円
欧州株ツインα(毎月分配型)	13,111円
欧州株ツインα(資産成長型)	96円
NBマルチ・ストラテジー・ファンド(ダイワSMA専用)	2,699,766円
NBハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド(部分為替ヘッジあり) - 予想分配金提示型 -	20,915円
NBハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド(為替ヘッジなし) - 予想分配金提示型 -	9,993円
米国リバーサル戦略ツインαネオ(毎月分配型)	26,385,980円
米国リート厳選ファンド(毎月決算型)	249,776円
米国リート厳選ファンド(資産成長型)	249,776円
米国株アルファ・カルテット(毎月分配型)	799,281円
米国株厳選ファンド・米ドルコース	9,992円
米国株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	9,992円
米国株厳選ファンド・豪ドルコース	9,992円
米国株厳選ファンド・高金利通貨コース	9,992円
米国リート・アルファ・カルテット(毎月分配型)	699,301円
NBマルチ戦略ファンド	9,989円
日本株アルファ・カルテット(年2回決算型)	9,990円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)	9,992円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)	9,992円

*元本の欠損

23,157円

損益の状況

自2017年7月26日
至2018年7月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	520,980円
受 取 利 息	533,098
支 払 利 息	△ 12,118
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 543,640
売 買 損 益	△ 543,640
(C) そ の 他 費 用	△ 1,002
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 23,662
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	242
(F) 解 約 差 損 益 金	407
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 144
(H) 計 (D+E+F+G)	△ 23,157
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△ 23,157

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。